

敬老会特集号

発行 八幡コミュニティ
 責任者 寺島康夫 TEL 33-3230
 印刷 八幡コミュニティ
 編集 総合管理本部

第 102 号
 平成29年10月15日

やわたコミュニティ

八幡コミュニティのホームページを、「知多市八幡コミュニティ」で検索して、ぜひご覧になってください。

敬老化率の変動状況

5年前と比較すると、地域ごとに敬老化率の変動が大きく異なっていることが分かる。

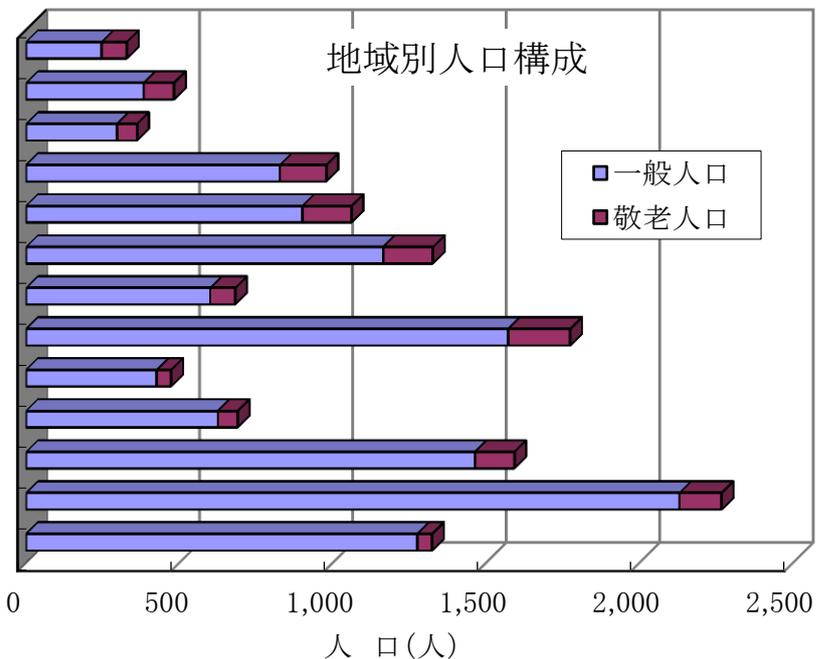
	24年度	29年度	差異
荒井	14.6%	9.9%	↘ -4.7%
西平井	16.1%	15.4%	⇒ -0.7%
上平井	9.7%	9.3%	⇒ -0.4%
中小根	14.0%	15.1%	⇒ 1.1%
八幡新町	4.6%	6.0%	⇒ 1.4%
寺本新町	2.2%	3.6%	⇒ 1.4%
中島	9.9%	11.9%	↗ 2.0%
荒古	9.2%	11.4%	↗ 2.2%
寺本台	5.7%	8.0%	↗ 2.3%
杉山	8.2%	12.2%	↑ 4.0%
廻間	15.8%	20.3%	↑ 4.5%
浜小根	20.1%	24.9%	↑ 4.9%
堀之内	10.4%	18.0%	↑ 7.6%
八幡全体	8.9%	10.7%	⇒ 1.8%



- 101歳 加古美恵様 (堀之内)
- 101歳 早川ウメノ様 (堀之内)
- 101歳 尾之内典様 (堀之内)
- 100歳 中井美知様 (荒古)

「広報ちた(2017.9)」掲載分

総人口	敬老人口	28年度敬老比率	29年度敬老比率	地域名
329	82	24.2%	24.9%	浜小根
482	98	19.1%	20.3%	廻間
362	65	17.5%	18.0%	堀之内
979	151	14.9%	15.4%	西平井
1,061	160	14.8%	15.1%	中小根
1,327	162	10.4%	12.2%	杉山
682	81	10.7%	11.9%	中島
1,774	202	10.3%	11.4%	荒古
473	47	10.5%	9.9%	荒井
690	64	8.9%	9.3%	上平井
1,592	128	7.0%	8.0%	寺本台
2,267	137	5.7%	6.0%	八幡新町
1,324	48	3.2%	3.6%	寺本新町
13,342	1,425	10.0%	10.7%	合計



《荒井》



敬老者の皆様、素敵な笑顔でした。空手の演武に興奮されていました。

《堀之内》



敬老者65名のうち43名が参加して、ゲームなどで楽しく過ごしました。

《浜小根》



写真撮影の後、余興のカラオケとビンゴゲームで楽しんでいただきました。

《西平井》



元気な40名の皆さんが、ブラスバンドの演奏と生カラオケで盛り上がり、満面の笑顔でひと時を過ごしていただきました。

平成29年度 敬老会いろいろ

《中島》



第96回中島敬老会に50名の敬老者をお迎えして、和気あいあいの中フラダンス・オカリナ・腹話術の余興を楽しんでいただきました。

《廻間》



元気で100歳まで頑張るゾーBY敬老者。

《中小根》



明愛幼稚園の園児90人がお祝いに来てくれました。

きた老人を敬愛し、長寿を祝う」と法律に定められています。当初は、昭和二九年から「よりの日」と称していたが、昭和三九年に「老人の日」と改められた。さらに昭和四一年に「敬老の日」と改められ、「建国記念の日」「体育の日」とともに国民の祝日に追加されました。

《荒古》



八幡神社の森岡宮司による「長寿祈願」のご祈祷神事において、敬老者を代表し鈴木武夫様ご夫妻に玉串奉奠していただきました。

《上平井》



きんちゃん・キッズの余興では、みんなと一緒に楽しんでおられました。これからもお元気で。

《杉山》



82名の敬老者をお迎えし、歌謡ショーとカラオケで、楽しいひと時を過ごしていただきました。

《八幡新町》



余興の笑いヨガで皆さん若返りました。この先10年は敬老会に出席していただけそうです。

《寺本台》



今年は52名の方に参加いただきました。オカリナの演奏に合わせて懐かしい歌謡曲を歌ったり、ビンゴ大会をして楽しいひと時を過ごすことができました。

《寺本新町》

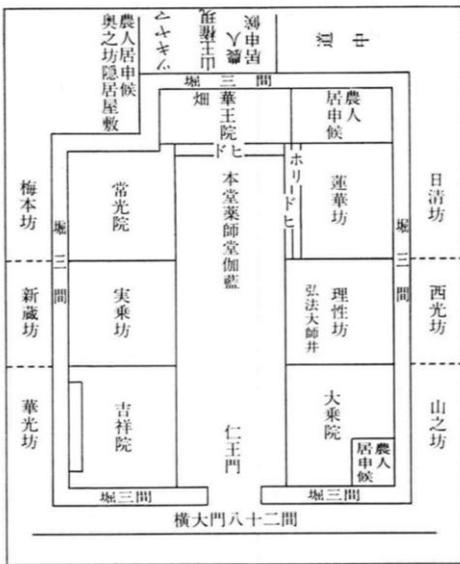


15名の方が参加されました。祝宴には飛び入りもあり、楽しい時間を過ごしていただけたことと思います。

第4回《八幡ふるさと検定》 実施要領

- 試験日時 平成30年1月21日(日) 午前10時開始 11時終了
- 試験会場 知多市青少年会館 知多市八幡字堀切91-1 ☎ 0562-36-2960
- 受験料 大人 500円 学生(小・中・高生) 200円
- 申込期限 平成29年11月1日(水)～11月15日(水)
- 申込方法 (1)お住まいの地域の組長・町内会長に申し出てください。
(2)八幡コミュニティのホームページで過去の試験問題・テキストを公開しています。

法海寺古絵図(創建当時の伽藍配置)



ふるさと検定 八幡塾《探訪考証編》

郷土の伝統・文化を学ぶ 法海寺大百科(第2回)

法海寺の開基は、新羅国
鳳来寺及び寺本「法海寺」
諏訪大社(本地仏)、三河
法隆寺(一説には、信州
であり、日本三薬師「奈良
益を祈願する天台宗の古刹
来を御本尊に祀り、現世利
葉王山法海寺は、薬師如
て今日まで大切に伝えられ
てきた。
中)は、代々の住職によつ
山法海寺儀軌」(写真下
れている。その巻物「葉王
る根拠は一卷の巻物に記さ
○年前に創建されたとされ

法海寺は八幡の全住民によって
お守りしています

明信王の太子の道行法師といわれ、由緒は「日本書紀」巻二七の天智天皇七年の条につながっている。そこには、「沙門道行、草薙劔を盗みて新羅に逃げ向く、而して中路に雨風にあいて、荒迷ひて歸る」と道行の名前が登場している。後世に編纂された寺伝の「葉王山法海寺儀軌」によれば、この後、この沙門道行は帰国を断念し当地に堂宇をいとんでいた。そして、天智天皇の御不例を当山御本尊に祈願して平癒した功によつて、「葉王山法海寺」の勅額と寺田二八〇町歩を賜った。
時に、天智七(六六八)年、八月三日の創建とされ、以降、淳和天皇に至る十三代の勅願寺として堂宇壯観、内外十二院(上の図)があつたと伝えられている。法海寺の敷地からは白鳳時代の古瓦が出土しており、千三百有余年の歴史を裏付ける有力な事象としてその信憑性を物語っている。

本堂前の葉王山法海寺略縁起



葉王山法海寺儀軌(縁起書)



日本書記の冒頭

